

令和3年11月15日

3年生保護者様

名古屋市立港明中学校長  
福島 多佳久

### 全国学力・学習状況調査の本校の結果と個票配付

朝夕めっきり涼しくなってきました。保護者の皆さまにはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日ごろは、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、5月27日に参加しました「全国学力・学習状況調査」の本校の結果と個人の結果が文部科学省から届きました。本校の結果の概要を下記のようにお知らせするとともに、名古屋市教育委員会で分析した名古屋市全体の結果も併せて配付させていただきましたのでご確認ください。なお、個人の結果につきましては、後日、保護者会でお渡しする予定です。

#### 記

#### 1 本校の結果の概要

##### (1) 分析の方針

文部科学省、および名古屋市教育委員会は、結果の公表については「序列化や過度な競争とならないようにする」という方針をとっています。本校もその方針を受けて、学校全体の傾向を国・県の状況をふまえて分析しました。

##### (2) 本校の概要

調査の結果	調査の意識に関わる結果	分析・今後の取り組み
国語 【努力を要する】	「国語への関心・意欲・態度」は高い結果であったが、「読むこと」と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の定着率は低かった。	文章を読み解く学習活動や読書する機会を積極的に取り入れるなど、読む能力を高めていきたい。また、学習ノートに記録するときに、形式や内容に留意させるなどして、書く力を身に付けさせていきたい。
数学 【おおむね満足】	表やグラフを適切に読み取ったり、問題解決の方法を数学的に説明したりすることができるなど、「関数」の領域において高い結果となった。	「資料の活用」の領域では定着率が低かった。データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるような活動に取り組みさせるなど、数学的な技能を身に付けさせていきたい。
その他 生徒質問紙の結果	「数学の勉強は大切である」「将来、社会に出たときに役に立つ」と考える生徒は、全国や愛知県よりも高い結果となったが、問題の解き方や考え方が分かるようノートに書いている生徒は20%低い結果となった。	数学の勉強は好きではないが、その必要性について前向きに考えることができている生徒は多い。また、授業での話し合い活動ができている生徒も多いことから、学び合いやノートの活用によって学力の定着につながる授業を教師が行い、学習への自信にすることができる支援をしていきたい。

#### 2 個票を見るとき留意点

今回の調査で測定した力が、学力の特定の一部であること、得意や不得意な領域を知るためのものであることをご理解いただき、今後、お子様が学習に意欲をもてますようご家庭でも励ましをお願いします。